



市民との対話集会（デジタル化の推進）

対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

テーマ別対話集会～デジタル化の推進編～

デジタル化が進むことにより市民・行政の両方がより良い方向へ変化していく姿を想像し、あるべき姿と今できることを一緒に考えました。

日時：10月28日（土）13：30～15：30

場所：Zoomによるオンライン開催

※市長は福岡県八女市から参加

※発言者の1名は横浜市から参加

参加者：発言者8名 傍聴者14名

テーマ：①最近デジタルですごいなと思ったこと

②普通の生活でこんなのがデジタル化できたら便利だね

③市役所でこんなのができれば便利だね



主な意見

○生成AIやチャットツール、AIスピーカーなど生活の中にも最新のデジタル機器が多数あり便利さを感じている

○閲覧板が課題と感じるがデジタルにして紙をなくすなどできないだろうか

○行政から配布物が大量にあるが文章も堅く大事な情報を見逃しがちになる。文章の堅さは生成AIで解消できないか

○市民からのアウトプットで生活圏内の発見を共有できる仕組みがつかれないか

○小学校の授業参観ではタブレットを使って役割分担できていたのがすごいと感じた

○エンジニアが集まってハッカソンなど開催できないか

○市役所は紙が多く保育所などの申請にも書くものが多い

○KDDIやインフォニクが支店をつくり高専やポリテクもあるので、ITやエンジニアと親和性の高いまちではないか

○ITの感度が高いまちとなれば舞鶴のブランドも向上するのでは

